学校番号	306

令和８年度　理科

教科	理科	科目	（学）生物基礎演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	リードα生物基礎（数研出版）、生物基礎（数研出版）、プリント教材						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

毎回小テストから始め、授業への集中を高めてから演習をはじめます。事前に分野ごとの問題を渡し、分野別に近い形で学習を進めますので、自宅学習を欠かさず行っておいてください。授業では演習解説を中心に行いながら内容の理解を深めていきます。最後に、プリントを配りますので、次回の授業までに行っておいてください。入試に向けては時間との戦いになります。間違った問題は、次は正解できるよう、欠かさぬ学習をお願いします。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
生物基礎で学習した基本的な事項が定着し、それを用いた問題を解答できる。

【思考力、判断力、表現力等】
複数の基本的事項を互いに関連させ、横断的に適応し問題を解決できる。

【学びに向かう力、人間性等】
生物への興味・関心を持ち、積極的に授業や課題に取り組む姿勢を育む。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生物基礎分野全般の知見について、基本的な概念や実例への理解度から見ることができる。	生物基礎分野全般に見られる様々な事象を学び、その理解をもとに、問題に対して深く考察する姿勢を持ち、事象を科学的に考察し、結論を導き出すことができる。	生物基礎分野全般に見られる様々な事象に興味・関心をもち、深く理解するとともに、主体的に問題理解に取り組むことができる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	生物の特徴など	・生物の特徴 ・遺伝子とその働き	a:生物の特徴などについて学び、問題演習で知識の定着を進める。 b:より具体的な生物現象に対して、深く理解した上で、問題演習で理解を進める。 c:様々な生物現象に対して興味を持ち、自ら探究する。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	提出物(ノート・プリント・課題など)の取り組み状況、 授業中の取り組み状況
	体内環境の維持	・ヒトの体内環境維持	a:自律神経の働きなどについて学び、問題演習で知識の定着を進める。 b:より具体的な生物現象に対して、深く理解した上で、問題演習で理解を進める。 c:様々な生物現象に対して興味を持ち、自ら探究する。			
2学期	生物の多様性と生態系	・植生と遷移 ・植生分布・バイオーム ・生物の多様性 ・生態系バランスと保全	a: 遺伝情報の発現・発生などについて問題演習を中心に知識の定着を進める b: より具体的な生物現象に対して、深く理解した上で、問題演習を中心として、理解を進める。 c:様々な生物現象に対して興味を持ち、自ら探究する。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	提出物(ノート・プリント・課題など)の取り組み状況、 授業中の取り組み状況
	演習	・全範囲の演習	a:これまで学んだ知識を、問題演習を中心にさらに定着させる。 b: より具体的な生物現象に対して、深く理解した上で、問題演習を中心として、理解を進める。 c:様々な生物現象に対して興味を持ち、自ら探究する。			
3学期	演習	・全範囲の演習	a:これまで学んだ知識を、問題演習を中心にさらに定着させる。 b:より具体的な生物現象に対して、深く理解した上で、問題演習を中心として、理解を進める。 c:様々な生物現象に対して興味を持ち、自ら探究する。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	提出物(ノート・プリント・課題など)の取り組み状況、 授業中の取り組み状況

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度